

## 「平成23年度 病虫害発生予報 第9号」の発表について

向こう1か月の主要な病虫害の発生予察情報については、次のとおりです。

- ・ 現在のところ顕著に発生が多い病虫害はありませんが、1か月予報（11月4日気象庁発表）では、平年より平均気温が高いと予報されているため、今後も病虫害の発生に注意が必要です。
- ・ 施設栽培では夜間に施設内の加温が行われるようになることから、施設内の温度が外気温より高くなり病虫害が発生しやすい環境になるため、注意が必要です。
- ・ 果樹や茶などでは、翌春の病虫害防除を効率的かつ効果的に実施するため、病虫害の越冬量及び越冬密度を低下させることが必要です。

### 病虫害防除に関する留意点

- ・ 病虫害防除を効果的に実施するためには、病虫害の発生状況を的確に把握し、適期の防除につなげることが大切です。病虫害の発生は天候の影響を大きく受けるので、天候の状況に注意しつつ、都道府県が発表する発生予察情報に基づき、地域ごとの防除基準に従って防除を実施してください。
- ・ 薬剤防除を実施する場合には、適切な薬剤を選択するとともに、病虫害が薬剤抵抗性を獲得しないように、同一系統薬剤の連続使用を避けてください。また、農薬の使用基準を遵守し、散布対象外の農作物等に農薬が飛散しないよう対策を講じてください。

### 野菜・花き

#### 露地栽培

- ・ 1か月予報（11月4日気象庁発表）では、全国的に平年より平均気温が高くなると予想されているため、病虫害の発生に注意が必要です。  
ほ場観察を行い病虫害の早期発見に努め、発生を認めた場合は適期に薬剤防除を実施してください。

#### 施設栽培

- ・ 冬期間を迎え、施設栽培では夜間に施設内の加温が行われるようになることから、施設内の気温が外気温より高くなり病虫害が発生しやすい環境になります。

- ・ ウイルス病を媒介するアザミウマ類、コナジラミ類等の施設内への侵入及び野外への飛び出しを防止するため、施設の開口部に防虫ネット等を設置するなどの対策を実施してください。
- ・ また、雑草はこれらの害虫の発生源となりますので、施設内及び周辺の定期的な除草に努めてください。
- ・ 栽培終了後は蒸し込み処理等を行い、作物残渣での生存虫を死滅させてから搬出し、確実に処分してください。

■ 発生が多い・やや多いと予想される病虫害及び地域

作物名	病虫害	発生が「多い」地域	発生が「やや多い」地域
キャベツ	菌核病		近畿
〃	黒腐病		南関東、東海、近畿
ネギ	アザミウマ類	南関東、東海	
〃	アブラムシ類		南関東
〃	黒斑病		南関東
ダイコン	アブラムシ類		南関東、南九州
〃	モザイク病		南九州
イチゴ	アブラムシ類	九州	
〃	ヨトウガ		南東北
〃	ハダニ類		南関東、東海、四国、南九州
〃	うどんこ病		四国、南九州
〃	炭そ病		北関東、南九州
キュウリ	コナジラミ類		南関東、甲信、東海、九州
〃	べと病		南関東、東海、北九州
〃	うどんこ病		関東、南九州
トマト	アブラムシ類		南九州
〃	コナジラミ類		南関東、甲信、東海、四国、南九州
〃	ハモグリバエ類	東海	
〃	葉かび病	東海	
ナス	アザミウマ類		東海、四国
キク	黒斑病、褐斑病	東海	南九州
ピーマン	黒枯病		南九州
〃	斑点病		南九州

## 果樹・茶

### 果樹共通

- ・ 果樹や茶などでは、翌春の病害虫防除を効率的かつ効果的に実施するため、病害虫の越冬量及び越冬密度を低下させ、翌春の病害虫の発生を抑制することが重要です。
- ・ 病害対策としては、翌春の一次伝染源となる被害落葉や罹病枝葉の除去、病斑部の削り取りを実施してください。  
虫害対策としては、ハダニ類やカイガラムシ類の発生が多かった園地では、粗皮削りやマシン油散布による防除を実施してください。

### 都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

平成23年10月5日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は下記のとおりです。

#### 警報

重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要が認められる場合に発表します。

発表はありません。

#### 注意報

警報を発表するほどではないが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要が認められる場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
10月20日	宮崎県	きゅうり、メロン	キュウリ黄化えそ病、メロン黄化えそ病
11月7日	愛知県	ナス	ミナミキイロアザミウマ

#### 特殊報

新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発生消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

発表月日	都道府県名	対象作物名	対象病害虫名
10月5日	静岡県	なし	フタモンマダラメイガ
10月6日	熊本県	トマト	トマト黄化病
10月14日	長野県	クロスグリ	スグリコスカシバ
10月14日	滋賀県	キャベツ、ブロッコリー	トビイロシワアリ
10月14日	千葉県	なし	ナシ萎縮病
10月14日	千葉県	サツマイモ、ゴボウ	アワダチソウゲンバイ

10月26日	埼玉県	なし	チャノキイロアザミウマ
10月26日	滋賀県	水稲、大豆、野菜類、果樹類	ミナミアオカメムシ
10月27日	秋田県	スイカ	スイカ炭腐病
11月4日	東京都	茶	チャトゲコナジラミ
11月8日	佐賀県	キウイフルーツ	キクビスカシバ
11月8日	高知県	ブルースター（ルリトウワタ）	ブルースター青枯病

## 用語解説

### 地域

- ・ 北海道：北海道
- ・ 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県  
北東北：青森県、岩手県、秋田県  
南東北：宮城県、山形県、福島県
- ・ 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県  
北関東：茨城県、栃木県、群馬県  
南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- ・ 甲信：山梨県、長野県
- ・ 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
- ・ 東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- ・ 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- ・ 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- ・ 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- ・ 九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県  
北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県  
南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県
- ・ 沖縄：沖縄県

### 発生量（程度）

- ・ 多い（高い）：やや多いの外側 10%の度数の入る幅
- ・ やや多い（やや高い）：平年並の外側 20%の度数の入る幅
- ・ 平年並：平年値を中心として 40%の度数の入る幅
- ・ やや少ない（やや低い）：平年並の外側 20%の度数の入る幅
- ・ 少ない（低い）：やや少ないの外側 10%の度数の入る幅

（平年値は過去 10 年間の平均）

### 平成 23 年度病害虫発生予報の発表予定

第 10 号： 2 月 16 日（木曜日）

（参考）これまでの発表

第 1 号： 4 月 21 日（木曜日）

- 第 2 号： 5 月 19 日（木曜日）  
第 3 号： 6 月 16 日（木曜日）  
第 4 号： 7 月 7 日（木曜日）  
第 5 号： 7 月 21 日（木曜日）  
第 6 号： 8 月 11 日（木曜日）  
第 7 号： 9 月 8 日（木曜日）  
第 8 号： 10 月 6 日（木曜日）

お問い合わせ先

消費・安全局植物防疫課

担当者：防除班 黒谷、後藤

代表：03-3502-8111（内線 4562）

ダイヤルイン：03-3502-5976

FAX：03-3502-3386

当資料のホームページ掲載 URL

<http://www.maff.go.jp/j/press/>